

11) 夜間・休日対応の有無	1. 外来(訪問診療)患者か否かにかかわらず24時間、365日対応 2. 外来(訪問診療)患者を含め輪番制の当番日のみ対応 3. 外来(訪問診療)患者以外については輪番制の当番のみだが、 外来(訪問診療)患者については24時間、365日対応 4. 対応していない 5. その他()				
12) 外来患者数(平成27年10月(1カ月)の実績) ※()内に数値を記入してください。	()人				
13) 介護保険の主治医意見書の発行枚数(平成26年11月1日~平成27年10月31日の1年間)	()件				
1-1. 貴院における地域連携体制の状況					
14) 退院調整部署(地域連携室等)の有無	1. あり 2. なし ⇒ 16)へ				
15) 「1. あり」の場合、職員の在籍状況(平成27年11月1日の状況)					
	職種	専従/兼務の別	常勤実人数	非常勤実人数	合計(常勤換算数)
① 医師		専従	()人	()人	(.)人
		兼務	()人	()人	
② 看護職員		専従	()人	()人	(.)人
		兼務	()人	()人	
③ MSW		専従	()人	()人	(.)人
		兼務	()人	()人	
④ 事務職員		専従	()人	()人	(.)人
		兼務	()人	()人	
⑤ その他		専従	()人	()人	(.)人
		兼務	()人	()人	
16) 退院前カンファレンスの参加者	① 職種		1. 医師 2. 看護師 3. MSW	4. 事務職員 5. 地域の居宅ケアマネジャー 6. その他()	
	② 平均人数		()名		
17) 緊急時の受け入れ病院との連携	1. あり 2. なし				
18) 訪問看護ステーションとの連携状況					
① 指示書を発行している患者数 (平成27年11月1日現在有効なもの)	a. 外来通院患者		()名		
	b. 訪問診療対象患者		()名		
② 連携している訪問看護ステーション数			()か所		

1-2. 貴院における訪問看護の提供状況				
19) 貴院における訪問看護（みなし）の提供状況		1. 提供している 2. 提供していない⇒2.へ		
◆訪問看護（みなし）を提供している場合、以下の問にお答えください				
20) 訪問看護部門の有無		1. あり 2. なし		
21) 訪問看護担当職員の状況（平成27年11月1日の実績）				
※非常勤・合計については常勤換算で記入願います。				
職種	専従/兼務の別	常勤実人数	非常勤実人数	合計(常勤換算数)
① 看護職員	専従	()人	()人	(.)人
	兼務	()人	()人	
② PT/OT/ST	専従	()人	()人	(.)人
	兼務	()人	()人	
③ その他（事務職員等）	専従	()人	()人	(.)人
	兼務	()人	()人	
22) 平成27年10月の訪問看護の実施状況について				
平成27年10月の実施状況		1. 医療保険	2. 介護保険	3. その他
①利用者数（人）		()人	()人	()人
②延べ訪問回数（回）		()回	()回	()回

2. 貴院の外来・入院患者の状況				
2-1. 外来患者の状況				
1) 本来は在宅医療で対応すべきだが外来診療において対応している患者の数				
1. いない 2. 1～5人 3. 6～10人 4. 10人以上				
2) 本来は在宅医療で対応すべきだが外来診療において対応している主な理由（複数回答可）				
1. 地域に在宅医療を担う医療機関がないため 4. その他()				
2. 本人が医療関係者が自宅に入ることを望まないため				
3. 家族が医療関係者が自宅に入ることを望まないため				
2-2. 入院患者の状況				
3) 入院患者の在宅復帰上の課題				
① 貴院における患者の在宅復帰上の課題（自由記述）				
② 貴院における在宅復帰支援のための取組み・工夫（自由記述）				

3. 貴院における在宅医療・看取りの実施状況

訪問診療・往診について
 ※往診は、急変時の要請に応じ診療を行うもの。訪問診療は、通院が困難な患者に対し、医師が訪問し疾患に合わせて定期的かつ計画的な診療を行うもの。

1) 訪問診療・往診の実施の有無
 1. 訪問診療・往診のいずれも実施していない ⇒ 2)へ
 2. 訪問診療・往診のいずれか、または双方を実施している ⇒ 以下①へ

① 現在、訪問診療を実施されていますか ※1～2から1つ選び、その右の見通しにも回答ください。

1. 実施している	実施機関のこれからの見通し：訪問診療（○は1つ）	1. 今後も実施する意向である 2. 今後は縮小を検討している
2. 実施していない	未実施機関のこれからの見通し：訪問診療（○は1つ）	1. 今後も実施する予定はない 2. 今後は実施を検討している

② 現在、往診を実施されていますか ※1～4から1つ選び、その右の見通しにも回答ください。

1. 実施している(概ね日中・夕方へのみ対応)	実施機関のこれからの見通し：往診（○は1つ）	1. 今後も実施する意向である 2. 今後は縮小を検討している
2. 実施している(概ね24時間対応)		
3. 実施している(上記以外)		
4. 実施していない	未実施機関のこれからの見通し：往診（○は1つ）	1. 今後も実施する予定はない 2. 今後は実施を検討している

③ 訪問診療・往診の実施状況（平成27年10月の実績） ※（ ）内に数値を記入してください。

訪問診療	▶実施人数：()人 ▶実施回数：()回	往診	▶実施人数：()人 ▶実施回数：()回
------	--------------------------	----	--------------------------

④ 在宅にて対応可能な疾患（複数回答可）

- | | |
|--|-------------|
| 1. 脳血管障害(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血等) | 6. がん |
| 2. 整形外科疾患(変形性関節症、骨折、脊髄損傷等) | 7. 透析対応 |
| 3. 特定疾患(パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、筋ジストロフィー等) | 8. 慢性疾患全般対応 |
| 4. 関節リウマチ | 9. 精神科疾患 |
| 5. 認知症 | 10. 小児 |
| | 11. その他() |

⑤ 在宅にて対応可能な主な診療内容（訪問看護の指示を含む）（複数回答可）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 胃瘻 | 8. 人工呼吸器の管理 |
| 2. 膀胱留置カテーテル | 9. 人工肛門・膀胱瘻の管理 |
| 3. 点滴管理(IVHポート管理を含む) | 10. 褥瘡処置 |
| 4. 吸引 | 11. 腹水コントロール |
| 5. 浣腸 | 12. がんの疼痛コントロール |
| 6. 気管カニューレ管理 | 13. 終末期の看取り |
| 7. 在宅酸素療法 | 14. その他 |
| | () |

2) 1) 訪問診療・往診のいずれも実施していない場合、その理由（複数回答可）

1. 地域における役割分担により在宅医療は他の医療機関が担うこととなっているため
2. 地域において在宅医療(訪問診療・往診)のニーズがないため
3. 外来診療が多忙で在宅医療(訪問診療・往診)を行う余裕がないため。
4. 診療報酬上の評価が十分ではないため
5. より急性期医療に取り組みたいため
6. 体力上の問題で行うことができないため
7. 専門としている診療科が在宅医療(訪問診療・往診)に適さないため
8. その他()

3) 看取りについて

① 現在、在宅での看取りを実施されていますか ※1～2から1つ選び、その右の見通しにも回答ください。

1. 実施している	実施機関のこれからの見通し：在宅看取り（〇は1つ）	1. 今後も実施する意向である
		2. 今後は縮小を検討している
2. 実施していない	未実施機関のこれからの見通し：在宅看取り（〇は1つ）	1. 今後も実施する予定はない
		2. 今後は実施を検討している

② 平成26年7月1日～平成27年6月30日の1年間の看取り対応数

②-1 貴機関内で死亡診断書を作成した件数	()名
②-2 在宅や介護施設等での看取り対応数	()名
②-2-1 在宅医療対応としての施設での看取り数 ※グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅などの居住系施設に訪問診療・往診請求を行って看取り対応した場合	()名
②-2-2 嘱託医対応としての施設での看取り数 ※特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障がい者施設、救護施設などに嘱託医として、訪問診療・往診請求を行って看取り対応した場合	()名
②-2-3 純粋な自宅での看取り数	()名
②-2-4 検死・検案の数	()名

4) 貴院における在宅医療に関する2025年における取組みの予定

1. 実施している可能性が高い
2. 実施していない可能性が高い
3. その他 ()

4. 貴院の属する地域（日常生活圏域）の在宅医療の普及について

	1. 供給過剰	2. 充足	3. 不足	4. わからない	5. その他
1) 現在の貴院の属する日常生活圏域の在宅医療機能の充足状況 (それぞれ〇は1つ)					
①訪問診療	1.	2.	3.	4.	5. ()
②往診（日中のみ）	1.	2.	3.	4.	5. ()
③往診（24時間対応）	1.	2.	3.	4.	5. ()
④訪問看護	1.	2.	3.	4.	5. ()
2) 現在の貴医療機関の属する日常生活圏域で提供する介護サービスの充足状況 (それぞれ〇は1つ)					
①施設系（特養、老健、介護療養型医療施設）	1.	2.	3.	4.	5. ()
②居住系（グループホーム、特定施設入居者生活介護等）	1.	2.	3.	4.	5. ()
③訪問系（訪問介護、訪問看護、訪問入浴介護等）	1.	2.	3.	4.	5. ()
④通所系（通所介護、通所リハ等）	1.	2.	3.	4.	5. ()

3) 地域において在宅医療を推進する上で課題（支障）となるものは何だとお考えですか
（複数回答可）

- | | |
|---|---|
| 1. 遠方の患者については移動時間が多くかかること | 6. 患者（家族）の在宅医療や看取りに関する理解が十分ではないこと |
| 2. 在宅医療に関する診療報酬上の評価が不十分であること | 7. 家族の介護力や介護サービスなど介護に関する体制が不十分であること（医療上は可能であっても、介護体制が不十分であるため在宅移行が困難） |
| 3. 訪問看護を担う看護職員が不足していること | 8. 退院時の支援が不十分であること |
| 4. 患者の容体が急変したときの受け入れ体制が不十分であること | 9. その他（ ） |
| 5. 患者の容体について、訪問看護ステーション、介護サービス事業所などの関係者と情報共有を行うことが困難であること（情報共有を行う時間を確保することが困難であること） | |

4) 在宅医療を推進するために必要だと思われる支援（対応策）は何ですか
（複数回答可）

- | | |
|--|--|
| 1. 診療報酬上の評価を含めて財政支援を手厚くすること | 9. 施設系介護サービス（特養、老健、介護療養型医療施設）の充実 |
| 2. 訪問看護を担う看護職員の養成・確保 | 10. 居住系介護サービス（グループホーム、特定施設入居者生活介護等）の充実 |
| 3. 急変時の受け入れ体制の確保 | 11. 訪問系介護サービス（訪問介護、訪問看護、訪問入浴介護等）の充実 |
| 4. 複数主治医制の導入 | 12. 通所系介護サービス（通所介護、通所リハ等）の充実 |
| 5. 地域ケア会議の活性化 | 13. 退院時の支援の充実 |
| 6. 在宅医療をおこなっている医療機関、訪問看護ステーション、介護サービス事業所など関係者が患者の容体について情報共有を円滑に行うためのタブレット端末の導入 | 14. その他（ ） |
| 7. テレビ電話などを活用した遠隔診療の推進 | |
| 8. 患者（家族）の在宅医療・看取りに関する理解の促進 | |

5. ICTの活用状況について

1) 貴機関では、医療機関間において、カルテ、画像などの診療情報を共有するために、ICT（情報通信技術）を用いたネットワークに参加していますか。 ※1～2から1つ選び、その右の間にもご回答ください。

1. 参加している	(ア) どのようなネットワークに参加していますか（〇はいくつでも）	1. 信州メディカルネット 2. 飯田下伊那診療情報連携システム（ism-Link） 3. 上小メディカルネット 4. その他（ ）
	(イ) どのくらい利用していますか。（〇はいくつでも）	1. 頻回に利用している 2. たまに利用している 3. ほとんど利用していない、使ったことがない
	(ウ) 利用してよかったと感じたことはありますか（〇はいくつでも）	1. 正確な情報をリアルタイムに得ることができた 2. 繰り返しの検査や重複した処方避けることができた 3. アレルギー情報など重要な情報を知ることができた 4. その他のよかったこと（ ） 5. 良かったと感じたことはない
2. 参加していない	② 参加していない理由はなんですか（〇はいくつでも）	1. どのようなメリットがあるのか分からないため検討していない 2. 必要性を感じないため 3. 費用が高いため 4. その他（ ）

2) 貴機関では、在宅医療において、医療機関、訪問看護ステーション、介護事業所等が患者情報を共有するために、ICT（情報通信技術）を用いたネットワークに参加していますか。 ※1～2から1つ選び、その右の間にもご回答ください。

1. 参加している	① どのようなネットワークに参加していますか（〇はいくつでも）	1. 信州メディカルネット 2. サラス 3. ID-Link 4. その他()
2. 参加していない	② 参加していない理由は何ですか（〇はいくつでも）	1. どのようなメリットがあるのか分からないため検討していない 2. 必要性を感じないため 3. 費用が高いため 4. その他()
3) ICT（情報通信技術）を利用した、医療機関間における患者情報共有は、今後どのようなことが望ましいと考えますか。（〇は1つ）	1. ICTを利用した医療機関間における患者情報共有は、広がっていくことが望ましい 2. ICTを利用した医療機関間における患者情報共有は、望ましいことではない 3. その他()	
4) ICT（情報通信技術）を利用した、医療機関と介護事業所との情報共有は、今後どのようなことが望ましいと考えますか。（〇は1つ）	1. ICTを利用した医療機関と介護事業所との情報共有は、広がっていくことが望ましい 2. ICTを利用した医療機関と介護事業所との情報共有は、望ましいことではない 3. その他()	

6. その他	
1) 地域の在宅医療についての電話でのヒアリングの可否	<p>1. 可能である ⇒可能な曜日 ()曜日 ⇒可能な時間帯 (① 9 時前 ② 9 時～12 時 ③ 13 時～15 時) (④ 15 時～17 時 ⑤ 17 時以降)) ⇒お電話番号()</p> <p>2. 困難である</p> <p>※1. 「可能である」と回答いただいた場合、お電話させていただくことがございます。</p>
2) 在宅医療をはじめ地域医療の現状や課題・意見・要望など（自由記述）	

■■■ご協力ありがとうございました■■■